

# 令和元年度 鶴見中学校 キャリア教育 実施報告

## 『自らの将来を考える！～横浜市の交通を考える仕事の視点から～』

### 1 キャリア教育の概要

- 横浜市立鶴見中学校では、様々な仕事に携わる人々のお話を聴く授業を行っており、「横浜市役所の仕事～横浜市の交通を考える仕事～」をテーマに出前授業を実施しました。
- 今回の出前講座のねらいは、自らの将来を考えるために、仕事の一つとして、市役所の仕事をまちづくり、特にバス等の公共交通に関する仕事内容を例にして説明し、市役所の仕事や身近な交通に興味・関心を持ってもらうことにあります。

#### ■キャリア教育について

- 【日時】 令和元年5月27日(月)  
5～6校時 13:25～15:15
- 【対象】 鶴見中学校 1・2年生(327人)
- 【目的】
- ・自分の適性や将来の職業に結び付けるため、講話を通じて自分を見つめ、自分に合う職業について考えるきっかけを作る。
  - ・いろいろな職業を知る機会とする。
- 【内容】 説明用パワーポイントを用いた講話
- ▼主なテーマ
- ・市役所の仕事、都市交通課の仕事
  - ・モビリティマネジメントについて
  - ・具体的な業務の流れや心がけ
- …など

### 2 「横浜市交通分野で働く人のお仕事」の講話

- 説明用のパワーポイントを用いて、講話を進めました。
- 今回の授業では、生徒たちに市役所の役割や都市整備局の取組み、まちづくりの考え方を学んでもらいました。そして、モビリティマネジメントの取組を例にして、公務員の仕事を簡潔に説明し、横浜市役所の職員としての仕事のやりがいなどについても話をしました。
- 生徒からは、「市役所で働いていて、どんなことを学んだのか？」などの質問がありました。

#### ■講話に用いた説明用パワーポイント

横浜市役所の仕事

市役所の仕事

都市交通

- 横浜に住むみなさんが便利で、安全・安心に暮らせる理想となるまちを**考える**。
- 理想となるまちにするために、税金(みんなから集めたお金)を使って、**事業を行ったり、ルールを作ったり、必要な手続きを行ったり、理想となるまちにするために実行する**。

利用が減ってきたバス

市内を走るバスのクルマは便利。ただ頼りすぎると...

地球温暖化

- 北極の氷がとけだしたり...
- 大雨が増えたり...
- この大きな温室の一つがクルマの排気ガスやごみを燃やしたりすると**二酸化炭素**と言われています

### 3 キャリア教育を終えて

- 今回の出前講座で交通に関する仕事に触れ、交通のまちづくりに興味・関心を持ち、公共交通を維持することの必要性について考えるきっかけとなることを期待します。
- また、将来を考えるにあたり、自分の選択基準をしっかりとつことが大切であることを、学びとってくれたのではないかと思います。
- 授業後のアンケートでは、「市役所の仕事について何も知らなかったけど、意外に私たちの身近な仕事でびっくりしました」、「ひとりひとりが町をより良くしていこうと思うことで、地球温暖化なども減らすことができるのだと分かり、公共交通を少し使ってみようと思いました」といった感想をいただきました。

